



平成 20 年度科学技術振興調整費：イノベーション創出若手研究人材養成事業「革新的開発リーダー養成システムの構築」の採択について

## 概要

平成 20 年度科学技術振興調整費：イノベーション創出若手研究人材養成事業に本学から提案した「革新的開発リーダー養成システムの構築」が採択されました。

本プログラムは、異文化・異分野・異業種との交流の場への参加を通じて、産業界の多様な場において、創造的な成果を生み出す能力を身に付けた卓越した研究開発リーダーとして活躍する人材を養成することを目的としています。

## 背景

本学では、平成 18 年 7 月よりポストドクター等の若手研究人材のキャリアパス多様化のためのキャリア支援センターを設置し、マネジメント教育プログラム、インターンシップ、キャリアパス多様化ガイダンス、啓発セミナー（キャリアアップセミナー）、キャリア設計カウンセリングおよび求人求職コーディネーターなどの各種事業を実施してきました。しかしながら、依然として若手研究人材のキャリアパスに関して以下のような課題を抱えています。このような中、イノベーション創出の中核となる若手研究人材が国際的な幅広い視野や産業界などの社会のニーズを踏まえた発想を身につけるシステムの構築が望まれています。

- ①ポストドクター等の社会人基礎力不足
- ②ポストドクター等の年齢による就職の難航
- ③バイオ系および基礎理論系若手研究人材の滞留

## 内容

本学内にイノベーション人材養成センターを設置し、本取組の全体のマネジメントを行います。

養成方法として、博士号取得者コースと博士後期課程学生コースを設けて、国際交流研修（異文化）、産学共同研究参画（異分野）、国内外企業研修（異業種）の実践型プログラムを開発・実施します。

博士号取得者コースについては、異分野研究開発課題の設定能力と遂行能力を身につけること、博士後期課程学生コースについては、研究開発課題設定能力と遂行能力を身につけることを目標とし、そのキャリアパスとして研究開発リーダー候補として企業へ就職することを目標としています。

また、九州大学の九州・山口地域における教育・研究の中核的役割を考慮して、九州・山口地区大学に対して各大学の若手研究人材が当該実践型プログラムに応募することを特に積極的に働きかけます。

## 効果

本取組が、養成修了者の優秀性に起因して産業界から高く評価されることにより、実施機関以外の他大学へも普及すれば、引いては我が国大学の若手研究人材養成の変革につながることも期待できます。

## 今後の展開

3 年目の養成/輩出目標人数は、博士号取得者コース 20 人/16 人、博士後期課程学生コース 25 人/20 人、実施期間終了時の養成/輩出目標人数は、博士号取得者コース 40 人/32 人、博士後期課程学生コース 45 人/36 人です。

実施期間終了後は、九州大学等の学内措置及び協働企業からの受託・共同研究費用による当該人材養成システムの継続・拡大を図ります。

### 【お問い合わせ】

産学連携センター教授 古川 勝彦

電話：092-642-4364

FAX：092-642-7128

Mail：[furukawa@astec.kyushu-u.ac.jp](mailto:furukawa@astec.kyushu-u.ac.jp)

